

### 3. 友だちと協力することが苦手な生徒に向けて

- ・ねらい 他者の個性を尊重し協力することで、自他の理解能力を高め、人間関係形成能力を養う。
- ・内容 風景の部分を順番に協力しながら描き、一つの絵を完成させる。
- ・用意するもの 四つ切り画用紙、サインペン、クレパス 感想を書くワークシート
- ・展開

	活動内容	指導上の留意点
P	・実態把握	・緊張感が強めの生徒や、心を開きにくい生徒がいる場合には画用紙の縁から1cmくらい内側に、フリーハンドで枠を描く作業を入れる。
D	・説明を聞く。 ・3～4人グループを作り、順番を決める。 ・画用紙にサインペンで順番に指示された風景を描き入れる。 ・全員で色づけをして完成させる。	・実態を考えてグループ分けをする。肯定的な言葉かけができるような生徒を分けて配置できるとよい。 ・川、山、田、道、家、木、人、橋、太陽、雲を順に指示する。様子を見ながら、次の指示を出す。 ・全員で一つのまとまりのある風景を描くように伝える。 ・どこに描くかなど相談してもよい。
S	・グループごとに絵を発表する。 ・振り返って、各自で感想を書く。	・指導者は随時、よいところを見つけ、褒めるようにする。 ・全体に絵を見せながら、 <u>工夫したところ、頑張ったところを発表する。</u> ・発表が終わったら、全体でグループに拍手を送る。 ・感想から実態を把握する。(P)

備考 色は塗らなくてもよいが、色を塗ることでカタルシスの作用があるので塗るとよい。

#### アレンジ例（下線部分）

まったく相談しないで実施するのと、相談しながら実施するのと両方できるとよい。代表者に発表させてもよいし、可能であれば一人ひとりに発表させてもよい。